

坂田弥優さんから、「太田川こどもモニターの集い」に参加した時に見つけた、きれいな赤い実についての報告メールが来たよ。

太田川こどもモニターの集いに参加して、きれいな実を見つけました。

✉ 坂田 弥優さんからのメール（平成17年10月30日）

10月29日土曜日「太田川こどもモニターの集い」に参加しました。わたしは、お昼ごはんを「川・森・文化交流センター」で食べてから、道をはさんだ反対側の滝山川に行ってみました。イモリがいるのが見えました。もっと奥に進んで行くと、真っ赤なきれいな実がなっていました。太田川こどもモニターでもらった「太田川生物誌」という辞典を見てものっていませんでしたので、写真をとっておいて家に帰って調べてみると「ヒヨドリジョウゴ」という植物でした。わたしが調べた小学館の「野外探検大図鑑」には「つる状の多年草で、夏に葉と向き合う位置に花びらが反りかえる独特の白い花をつける。実は球形で液質、秋に美しく、赤く熟す。原野や低山の道端などで見られる。実は特に毒性が強く、食べると吐き気や下痢、後に運動中枢および呼吸まひを起し、死に至る。」と書いてあって、わたしはびっくりしました。とって帰らなくてよかったなと思いました。



↑ 坂田さんが撮って送ってくれた写真

ヒヨドリジョウゴはナス科の植物で、ふだんみんなが食べているナスと同じ仲間なんだ。日本全土に分布していて、山野の林のまわりに生えているよ。

8~9月に、バドミントンの羽根に似た、白い花を咲かせるよ。

「ヒヨドリジョウゴ」という名前は、お酒が好きな人のことをじょうご(上戸)と言うのと同じで、ヒヨドリがこの実を好んで食べるからつけられたらしいけど、本当にヒヨドリがこの実を食べるのか、よくわかっていないんだ。



ヒヨドリジョウゴの花

ヒヨドリジョウゴの実には坂田さんが調べてくれたとおり、強い毒があるので、見つけても絶対に、さわったり食べたりしてはいけませんよ！

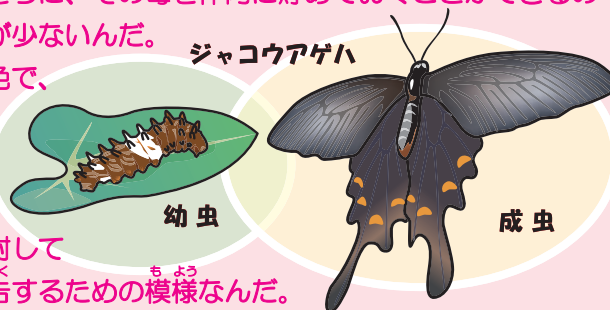
<注意!!>ヒヨドリジョウゴと同じように、毒のある木の実が他にもたくさんあるよ。川や山に遊びに行った時においしそうなお木の実を見つけても、さわったり探ったりしないで、専門の知識を持った人に必ず確認してね。

毒を食べる生き物

ヒヨドリジョウゴの実を本当にヒヨドリが食べるのかよくわかっていないけど、毒のある植物を食べる生き物は、色々知られているよ。

たとえば、ジャコウアゲハという蝶の幼虫は、ウマノスズクサ、という毒のある植物を食べて成長するよ。さらに、その毒を体内に貯めておくことができるので、鳥などに食べられることが少ないんだ。

ジャコウアゲハは全体は黒色で、後ろの羽のふちによく目立つオレンジ色のはん点があるよ。これは「警戒色」と呼ばれるもので、鳥などの捕食者に対して『私には毒があります』と警告するための模様なんだ。



報告ありがとう

坂田弥優さん、集いの参加もふくめて、5回目の活動&報告どうもありがとう！

毒がある植物の中には、昔から、薬草として使われてきたものがたくさんあるんだよ。

薬草は身の回りにもあるから、さがして報告してほしいな。

